



# あすなろ



## 挑戦 友情 感謝

校長 鈴木 華奈子



開会式 直線100mコースが整備されたグラウンドに、子どもたちの元気な声が響きます。1年生のはじめの言葉どおり、新しいグラウンドになってからの「初めての運動会」。どの学年もみんな“ワクワク、ドキドキ”です。

運動会のめあては1ヶ月前から廊下や教室に掲示されています。

「ダブル優勝！」「絶対優勝 絶対勝つ！」

「去年は徒競走で〇位だったから、今年は〇位になる」

「最高の思い出の運動会にする」

「勝ち負けこだわらず、みんな「やりきった」と笑顔でいえる運動会にしたい」

それぞれのめあてに向かい、休み時間も、あちこちで歌と振り付けを友達と一緒にやるなど、子どもたちは、一生懸命“挑戦”し続けてきました。運動会当日は、その挑戦の成果を、走り、声、態度で発揮し合い、励まし合い、喜び合いました。



運動会後の振り返りでは、

「最初は思うようにできなかったけど、だんだんみんなが声を出してくれて、もっと自分もやろうと思った。僕に付いてきてくれてありがとう！」

「僕たちが優勝できたのは、〇組がいてくれたから。いつも隣で本気で頑張りあえた。ありがとう。」

「〇〇さんへ、リレーのとき、今までで一番早く走っていたね。すごうれしかったよ。」

「〇〇さんへ あすなろ班種目のボール運びで、にこにこしながら楽しそうにやっていて、私も楽しくなって、最後まで頑張ろうと思えたよ」

など、子どもたちが互いの頑張りを喜び合い、“感謝”し合う言葉があふれました。

そして、思いっきり持てる力を出しきろうとする姿や、困難な場面でも楽しくやろうとする笑顔は、周囲の人の心に勇気を生むつながり（“友情”）となることも子どもたちは見つけていきました。

東っ子の“挑戦”“感謝”“友情”は今後も続きます。引き続き、子どもたちの本気・夢中を温かく応援ください。





# 運動会、ご声援ありがとうございました！

体育主任

5月25日(土)に令和6年度燕東小学校運動会を実施しました。保護者の皆様、地域の皆様からはあたたかな応援、ご協力をいただき、ありがとうございました。

子どもたちは「205人の思いをグラウンドに届けよう!!」のスローガンのもと、赤組も白組も競技と応援に力いっぱい取り組みました。新しくなったグラウンドに響きわたる、全校児童による大きな声援。声と動き、心を合わせた応援合戦は、大きな感動を生みました。子どもたちの、自分たちにできるベストを尽くそうとする姿が輝いていました。今年度の優勝は白組でした。また、応援賞は赤組に贈られました。閉会式での子どもたちの表情から、当日までの練習、当日の競技や応援でベストを尽くせたことがよく伝わってきました。運動会で得た貴重な経験を、これからの学校生活に生かして欲しいと思います。



# 「コミュニティースクール」始めました

地域連携担当

燕東小学校では、学校教育目標「かしこく やさしく たくましい子」の実現に向け、「ふるさと燕を愛し、自分の考えを伝える子ども」の育みを中核として教育活動に取り組んでいます。今年度も、各学年の総合的な学習の時間や生活科の時間を活用して「地域教育プログラム」を実施しています。

今年度は、燕市全体で「コミュニティースクール」制度が導入されました。「コミュニティースクール」とは、子どもたちの豊かな成長のために必要な支援について学校と地域が協議する「学校運営協議会」を設置した学校のことです。本校では、5月第1週に第1回学校運営協議会を開催しました。

例年、「地域教育プログラム」の実施にあたり、地域コーディネーターからお話を聞いたり、地域で活躍している方々を紹介していただいたりするなどして、子どもたちと交流活動を行っています。今後、「コミュニティースクール」制度の導入により、子どもたちの地域での学びをより一層充実させていきたいと考えています。これらの取組についてご理解をいただき、子どもたちの学びがより一層充実するよう、ご支援をお願いいたします。

